



会報 No.147 令和4年3月号

保育士等が安心して働き続けることのできる環境づくりに向けて

八王子市子ども家庭部長 小 俣 勇 人

早春の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

また、八王子市私立保育園協会の皆様には、日頃から幼児教育・保育の充実及び発展のために御尽力をいただくとともに、本市の保育行政について、多岐にわたる御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、流行開始から2年が経過した現在もなお、猛威をふるっており、強い感染力を持つ変異株「オミクロン株」の出現により、園児の間でも感染が急増したことで、本市でも多くの保育園・認定こども園が臨時休園を余儀なくされました。

各保育園・認定こども園におかれましては、三密となる環境を避けるために、これまで行ってきた教育・保育活動や園行事の一つ一つについて見直しを行ったり、保護者対応についても、送迎時のコミュニケーションや園行事が例年どおり行えず、園と保護者、保護者同士のつながりをつくるのが難しい状況で、これまでとは違った苦労が数多くあったことと思います。そのような状況でも、創意工夫と試行錯誤を重ねながら、子どもたちにより多くの学びの機会を提供できるよう取り組んでいただいている皆様に心から感謝申し上げます。

コロナ禍において、保育園等は、子どもの健やかな育ちを支えるための役割を担っているとともに、保護者の就労を支え、社会的機能を維持していくうえで必要不可欠な施設であることが、社会全体に改めて認識されることになりました。本市においても、エッセンシャルワーカーである保育士等への新型コロナウイルスワクチン（3回目）の優先接種を令和4年2月から実施するなど、引き続き必要な支援を行っていく予定です。令和4年度は新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、安心して保育がなされ、子どもの成長が保障される環境になることを願います。

また、国の令和3年度補正予算による保育士等の処遇改善についてですが、岸田内閣が掲げる経済対策のうちの「分配戦略」として、新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く方々の処遇を改善するため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%（月額9千円）程度引き上げるための措置を令和4年2月から実施するものです。

令和4年2月から9月までの間は、国の交付金により処遇改善が実施され、10月以降についても、公定価格の見直し等により引き続き同様の措置が行われる予定であり、本事業により講じた賃金改善水準を維持することが要件とされています。各事業者におかれましては、本事業の趣旨をよく御理解いただき、現場で働く保育士等への処遇改善が確実に行われ、その効果が継続的なものとなるよう、適切に御対応いただきますよう、切にお願いいたします。

結びに、八王子市私立保育園協会の益々の御発展と各園の皆様の御健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

過去のボウリング大会優勝コメント

本来ならば実際のコメントが入るはずですが、平成3年10月に第1回ボウリング大会が開催されて以来、令和2年、3年とコロナ禍の中ボウリング大会が中止となりました。平成23年、24年の喜びの言葉を掲載します。

ちなみに第1回個人の部、優勝者は小林弘子先生（敬愛）、2位は斎藤和巳先生（さつき）、3位は森屋八千代先生（光明第四）でした。（抜粋）



2011年 浅川保育園Aチーム（台風接近中の大会でした）

- みんなで楽しくやって優勝ということだったの良かった。by 石田祐樹
- 楽しかったです♡ 浅川サイコー by 久保美春
- 優勝やったー いけると思ったので、最後まで気を抜かなかったのが良かったのかな？
by 南 開春
- 来年はまぐれだったと言われたいような結果を出したいと思います。by 伊藤ミチ子

ボウリング大会優勝者喜びの声

2012年 めじろ保育園Aチーム

- まさか優勝できるとは思っていませんでした。職員のスコアが思った以上に良い1ゲーム目に自分がブレーキになってしまったらと思うと内心は穏やかではなくなってきました。2ゲーム目に緊張の糸が切れかけて崩れそうになりましたが、1ゲーム目に不調だった職員が盛り返してフォローしてくれました。次回の優勝はないと思いますが、今までにない2連覇ができたとしても、ちょっと欲が出ているところです。次回も優勝するぞ～ by 柊澤章次
- 大会参加4年目の大会で優勝する事ができ、本当にうれしく思います。普段からのチームワークの結果、優勝する事が出来ました。来年も職員同士で力を合わせて、優勝を目指し楽しくボウリング大会に参加したいと思っています。by 関口せつ子
- 今年のチームは皆調子が良く、とても盛り上がってました。保育もチームワーク大切です。今回のボウリング大会のように、職員同士協力し、支えあい、より良い保育が出るように、努めていきたいです！ by 川久保敬一
- 「今年は優勝しましょう！」と冗談交じりに話をしながら会場に向かいました。プレー中にみんなが笑顔になったりハイタッチしたり、大丈夫だよと励まし合ったり、みんなが同じ方向を向いて頑張っているということを感じました。それは普段の保育の中で感じる一体感とは違った一体感でした。来年もめじろ保育園のみんなでお出かけ優勝トロフィーを持ち帰りたいと思います。by 近藤麻美

シリーズ 私の保育園

ひなた保育園

園長 井上 雅之

ひなた保育園は平成22年に開園し、皆様方や地域近隣の方のご協力をいただき12年目を迎えることができました。

保育目標『丈夫な身体をつくる』『自分を表現する』『友達と楽しく遊ぶ』『感動する心をもつ』を掲げ子どもたちの成長を職員全員で考え保育をしております。

八王子市でももっとも東に位置し、近隣には自然や公園が多く、季節の訪れが沢山感じられる場所にあります。お天気の良い時に行くお散歩では様々な季節を感じ、また子どもたちはその季節や変化に感動することで気づきを経験して成長をします。保育目標でもある『感動する心をもつ』の通り、ひなた保育園ではたくさんの感動する経験をさせたいと思っております。

当園は三大イベントとして『七夕ひなまつり』・『親子運動会』・『クリスマス発表会』があります。『七夕ひな祭り』ではみんなで七夕飾りや願いを書いた短冊を笹に飾り、幼年組さんは盆踊りを踊り、保護者にご協力いただいて屋台を出店し、日本の風物詩の七夕や夏のお祭りの雰囲気を感じます。近隣の方々や卒園生を迎え300人規模の大きなお祭りになります。

『親子運動会』では、乳児クラスは保護者の皆様と一緒に親子競技をし、親子運動を音楽にのって踊ります。幼年クラスは春から始まった体操教室の様子を披露します。3歳児クラスはサーキットにて個々の能力を、4歳児クラスではパラバルーンをクラス全員で協力して披露します。

5歳児クラスになると組体操を行います。難易度が上がり練習では何回も失敗を繰り返し、一人の能



力では完成しない大きなピラミッドがみんなの力で完成したときは感動します。

『クリスマス発表会』は演劇や合奏、合唱にて4月からの成長の様子を披露します。

お話もできなかった0歳児さんが名前を呼ばれて大きな声で返事をしてくれるようになって嬉しく思います。

この三大イベントの他にも季節の行事や『どろんこあそび』や『にじますのつかみどり』理事長先生の畑での栽培活動も行っております。様々な体験を通し、命の大切さを知り、それが食育にもつながって、三大イベントまた各イベントの経験により思いやりや自信につながる様なカリキュラムを考えております。また年齢に合わせ、活動の前に必ず導入を行い、伝統行事を大切に、地域とのコミュニティーを築きながら活動を行っております。

外部教育機関として体操教室の他にプール指導、就学準備教室等も取り入れ、就学に向けて準備を行っております。

現在は新型コロナウイルスによりイベントの縮小や中止が多くなってはおりますが、早く終息し、以前のような形で開催し、園児さんに様々な経験をしてもらいたいと思っております。



みなみ野敬愛保育園

園長 高橋 伸哉

保育園に向かって伸びるアプローチ脇に梅の木があります。日に日に蕾が大きく色づいてきた今日このごろです。園の行事もひと段落し、この寄稿文を書き始めようと思った今朝、梅の花が咲いているのを4歳児のお子さまが私に伝えにきました。

私も一緒にその木を見に行き、白くて小さな可憐な花を指さしながら会話し、春の訪れのひとときを過ごしました。

草花が芽吹き、小鳥のさえずりが聞こえ、厳寒の峠を越えたように感じます。大人の間では慌ただしい時間が流れていますが、自然は悠々と、そして着実に時を刻んでいることに改めて感謝と喜びを感じます。

七国周辺にはまだ1棟も民家が建っていない平成19年4月にみなみ野敬愛保育園は産声をあげました。隣は広大な敷地の七国公園、裏には雑木林が鍾水方面まで続く七国古道があります。豊かな自然に抱かれた保育園では、季節の移ろいが五感を通して感じることができます。春には桜・梅・桃・李などの花々が鮮やかに咲き誇り、優しい薫りをさわやかな風が運んでくれます。夏になると青々と茂った園庭の芝生の上で回るスプリンクラーの水を頭からかぶったり、バケツや水鉄砲で水を掛け合ったりと、賑やかな声が響きます。3階にあるホールからは遠くに見えていた入道雲がどんと近づいているのが見え、雷鳴が近づいてくる様子を目の当たりにすることもあります。空高く飛んでいたトンボがいつのまにか手の届く高さを飛



んでいることに気づく秋には、木々が色づき金木犀の香りが心地よく感じます。大量のすすきがある七国公園からいつも「すすきの花束」をお子さまからいただきます。大雪の天気予報で八王子駅前からニュースの中継をしていた2月、キャスターは「わずかな積雪」と言っていましたが、私の保育園では、スキー用の服装をしたお子さまによる雪合戦大会が開催されました。通路の脇にかわいらしい雪だるまが立ち並び、お迎えにいらした保護者や、3回行った雪かきで体力を消耗した職員からも笑顔がこぼれました。

左右から飛び出る枝を体巧みによけながら古道を毎日のように歩みを進めるといつのまにか、動体視力が良くなり体幹も強くなっています。急な斜面を、両手両足を使って登っている活動を通して腕力脚力がついています。雑木林に隠れている幼虫を見つけて、図鑑をひも解き虫の名前を知り、更にさなぎになるまでのライフサイクルを学びます。「真っ赤だなぁ♪真っ赤だなぁ♪」と歌いながら「お空がこんなに赤くなったの！」とクレヨンで描きます。「僕が見つけたツララの方が長いよ！」と比較して、定規を使って計って、「クラスで一番長いものを見つけたのは？」と、ランキングをつけています。

忙しい朝・夕の送迎時間帯だからこそ、穏やかなクラシックを流し気持ちをリラックスできるようにしています。廊下や階段にはピカソやポール・クレーの絵や造形物が飾られ美しい人間文化を醸し出しています。

自然と文化のシンフォニーがコンセプトの私の保育園はこの春15回目の卒園式がありました。



編集後記

21世紀であるのに北京冬季オリンピック後にロシアが信じられない軍事行動を起こし、ウクライナに侵略戦争を2022年2月24日に起こした。ポーランドに避難民が100万人を超える異常事態である。国連、NATOより強く批判を受けている。ウクライナ大統領は民主主義の崩壊と訴えている。両国とも死傷者が出ており、ウクライナにおいては一般人も被害にあり、大切な命、幼い子どもの命も多数奪われている。非常に恐ろしい現実である。ニュース番組は、新型コロナウイルス感染症とウクライナ侵略を伝えてばかりである。ウクライナの子どものことが心配でならない。戦争のもたらす理不尽な殺害行動はいつになったら終わるのか。おなじ繰り返しをせず平和な暮らしができるのであろうか。子どもたちの平穏な生活を世界の平和を命大切さを願わずにいられない。

(野上)